



次は君が続け！

～未来の可能性を求めて～



国外研修（高校生）生募集

異文化・異言語の米国ワシントン州シアトル市で、一般の家庭にホームステイしながら、ノースウエスト・スクールに通学してみませんか？

世界各国の留学生と現地高校生と一緒に学び、交流することができます。また、フィールドトリップ（研修）も予定されており、シアトル歴史資料館などの研修も充実！

「英語を本格的に勉強したい！」、「世界中に友達を作りたい！」、「アメリカの文化を学びたい！」、そんな志あふれる皆さんの意欲に応えてくれる研修です。



さあ！国境を越え、未来の可能性を広げてみよう！

- 研修期間 令和7年7月26日から令和7年8月19日（24日間）
- 滞在先 アメリカ合衆国ワシントン州シアトル市
- 研修内容 第1、2週 学校での夏期補習 第3週 フィールドトリップ（研修）
※ 研修生に決定したら、約4回の事前研修、事後報告会（報告書作成等）があります。
- 個人負担金 237,000円
※ 為替相場や航空運賃により増減する可能性もございますので、予めご了承下さい。
また、パスポート申請手数料、海外保険料は別途必要です。
- 対象者 志布志市在住の高校生 定員5名
※ 市内中学校を卒業し、保護者が引き続き市内に住所を有する者も対象とする。
※ 面接審査後、決定は、5月中旬～下旬になります。
- 応募方法 各学校で申込書等をもらってください。
- 応募締切 令和7年5月7日（水）午後5：00まで
志布志市教育委員会必着
- 提出物 申込書（同意書兼承諾書）
作文（400字原稿3枚程度。応募動機や目的、学びたいことなど）
- 問合せ先・申込先
志布志市教育委員会 生涯学習課 社会教育グループ
TEL:472-1111（内線335） FAX:473-1880
Mail: shakaikyoku1@city.shibushi.lg.jp



（裏面続く）

○ 面接審査日時・会場 令和7年5月15日（木）午後7時から 志布志市役所 志布志庁舎

○ 事前研修・事後研修（予定）

第1回目 令和7年5月28日（水）18：30～

曾於地区合同研修 令和7年6月1日（日）午前中

*以降、2回程度英語指導等の研修があります。

研修期間 令和7年7月26日（土）から8月19日（火）（24日間）

事後報告会 令和7年8月27日（水）、12月7日（日）

（あくまでも予定です。詳細は、後日、連絡いたします。）

研修生の感想（令和6年度研修生）

※一部抜粋

私は約3週間のシアトル研修でたくさんのことを学び経験することが出来ました。私の夢である国際看護師の為にアメリカの病院の見学にも連れて行って下さり、とても貴重な経験をして益々と国際看護師への意欲が強くなりました。シアトルに行けて本当に良かったです。新しい友達をつくったり、新しい経験をする機会を与えてくださり、ありがとうございました。

この研修が私にとって初めての海外経験で、英語が聞き取れるか不安でした。海外で働きたいと思っているので、将来のためにも英語力とコミュニケーション能力の向上を目標としました。私はこの研修を通して、英語力やコミュニケーション能力の向上だけではなく、自分の将来を広い視野で見ることの大切さを知りました。また、貴重な経験を通して得た人脈を大切に、海外で働くという夢を叶えるためにこの研修で培った知識や学んだことを大切にこれからの学校生活や社会生活に活かしていきたいと思います。

シアトルでの約3週間の研修は、私にとって貴重な学びの時間となりました。最初は英語が速すぎて聞き取れなかったりしましたが、毎日の積み重ねで少しずつ自信がつき、スムーズに会話できるようになりました。私は言語力だけでなく、自己表現や異文化理解の面でも成長できました。新しい環境に飛び込むことで得た自信は、今後の挑戦にも繋がると思います。この経験を大切に、これからも積極的に学び続け、広い視野を持った人間になりたいと思います。シアトルでの全ての出来事は、私の人生において大切な宝物になりました。

長いと思っていたシアトルで過ごす約3週間も、毎日起こる沢山の新しい経験と同時にあっという間に過ぎていきました。シアトルに行ったことで多くの人と出会い、関わる事ができたこと、沢山の経験をする事ができたことは、必ずこれから先の私の財産になると思います。私を快く送り出してくれた家族や、家族の一員として温かく受け入れてくれたホストファミリー、その他にもサポートして下さった全ての方々に感謝したいです。

私は今回のシアトル研修でとても貴重な経験をする事ができました。今までの人生で体験したことのないことばかりで、毎日新しい発見がいっぱいでした。一緒にゲームをしたり、料理を作ったりしてたくさんいろんなお話をしました。とても親切に迎え入れてくれたことに感謝しています。そして今回この研修に行かせてくれた両親、支えてくださった先生方、旅行会社の方々、友人、すべての方々に感謝したいと思います。